



2024年 7月19日
第10号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第40号

駅派出所検査体制等の見直しに関する申し入れ 団体交渉⑤ 鎌倉車両センター逗子派出所

2. 実施に向けたトライアルについては、JETSに留まらず、指令及び逗子駅信号を交えた場を設定すること。
【会社回答】施策実施に向けた必要な準備を進めているところである。

組 合	会 社
JETSだけでなく他の箇所とトライアルは実施されているのか。	指令ユニット、連絡体制や変更点は実施済み。逗子駅信号も打ち合わせを実施済み。
トライアル中で、運用は乱れたのか。	大きな乱れはない。小さな乱れで運用変更発生したが、問題なく処理できた。
大きな乱れの際のトライアルをやらなければ、意味がないのでは。	構内の方で、基本と付属の運用は把握できている。当直、副長と連絡を密に取り合うことで従来以上に運用把握、対応できると考えている。
現行、A番がF券発行、作業責任者に渡しているが、変更後は変更情報をFAXで送り、その情報から作業責任者がF券を作成するという流れでは、タイムロスが発生する。タイムロスが大きくなれば、列車の遅れにつながるが、これについてどのように考えているか。	遅れがというよりも、正しい発注経路を踏んで行う事を重要視。運用変更が発生し、臨時分併等発生しても、基本構内からの発注に基づいて作業責任者が指示。タイムロスは対面に比べれば若干増えるかもしれないが、大きな問題でないと考えている。作業発注に基づいて動いてもらう。
正当な手順で遅れが出て、個人に責任を問わないという事で良いか。	必要な連絡手段で掛かった時間については問題ない。

確認!

3. 電留線の留置状況の把握方法や、パン降下確認の連絡体制について示すこと。

【会社回答】逗子駅電留線の留置状況の把握について変更点はない。なお、パンタグラフ降下の連絡体制については関係箇所と整理済みである。

組 合	会 社
パン降下確認、関係箇所と整理済みというが、具体的には。	変更後は、入区担当運転士が留置後、作業責任者へ報告。作業責任者が最終列車の入区完了とパン降下の連絡を受け、構内逗子A番へ報告、構内から指令へ連絡して作業終了の流れ。
線閉手配などをA番が行っているが、変更後はどうなるのか。	変更後も、場所が変わるだけでA番。あるいは構内副長などが行う。方法に変更はない。
逗子の現地にいなくてもこれまでと全く同等に把握できると確認してよいか	はい。
台風時等における鉄製手歯止めの扱いについてはどうなるのか。	本区にA番が行くだけなので、A番からの指示もしくは副長からの指示で鉄製手歯止めの装着と撤去ができる。

4. 逗子担当として本区構内で執務する際の担当内容と業務フローについて示すこと。

【会社回答】指令対応や運用調整、作業発注等を行うことになる。

組 合	会 社
実施以降の当面は逗子担当が担うのは逗子に専念した業務か。	はい。
「当面は」と聞いたが、具体的にはいつまでか。	当面は。具体的には決めていない。変更後の検証も必要。見直す可能性もある。
いつまでとは決まっていなくても会社として見ていくという事でよいか。	はい。
当直や構内副長も必要であれば逗子業務を行うのか。	基本的には逗子の事は逗子担当が行う。ただ、フォローが取れる体制にはしていく。

その⑥へ続く